

有限会社かごしま有機生産組合

<基本情報>

本部所在地：鹿児島県鹿児島市五ヶ別府町

<農場概要>

- 構成員：162戸（**有機 J A S 取得102戸**）、職員45名、パート30名
- 面積：275ha
- 栽培品目：約120品目（有機野菜、果樹、茶など）（2019年1月現在）



<有機農業に取り組むきっかけ>

大和田代表ご夫妻が大学在学中に公害問題に関心を持ったことをきっかけに有機農業の道に進み、1980年鹿児島市で就農し有機生産を開始。1984年に有機生産組合「かごしま有機生産組合」を10戸で設立。

<販売について>

- 直営店「地球畑」が県内に3店舗と有機野菜の食べ方の提案も兼ねた地球畑カフェ「草原をわたる船」



- 全体の3割は直営店舗で、その他の主な出荷先は「オイシックス・ラ・大地株式会社」、(株)ビオ・マーケットを通じた宅配やスーパーマーケットへの卸、コープ九州、その他の生協等。
- 毎年3~4回首都圏のマッチングフェアに参加。
- 2018年4月から**海外事業部で輸出事業をスタート**。
- 4~5年前から人参ジュース・りんご人参ジュースやごぼう茶・黒糖生姜湯を開発、**ベビーフードの開発**では「2018年鹿児島県特産品協会理事長賞」を受賞。

【お問合せ先】TEL. 099-282-6867
生産組合ホームページ <http://kofa.jp/>



<病虫害対策・除草対策・土づくり>

生産体制強化のために品目部会及び地域毎の支部会、年2回の作付会議やフォーラム（講習会・分科会）を行ない、経営力向上と栽培技術の共有等を図っている。

- 病虫害対策
土着天敵の活用や適期の播種、コンパニオンプランツの活用。
- 雑草対策
太陽熱処理の活用、緑肥の活用。
- 土づくり
土壌分析に基づき、土壌の肥沃度を高めることを優先課題とし、近年は特に緑肥の利用に取り組む。



<苦労しているところ>

- 物流コストと資材コストの高騰。

<今後の対応>

- 有機農産物への国内ニーズと海外ニーズの高まりに対応した生産体制の構築と面積の拡大。

<特色ある活動>

- 新規就農者のための研修施設「**有機農業支援センター**」があり有機苗の供給も行っている。
- 毎年オーガニックフェスタ（毎年5万人の来場者）を開催。
- 2017年からネパールへの技術支援も開始。